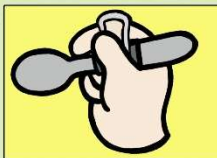


3歳児さんに "スプーン フォークの話" をしました

食育通信



3歳児さんから徐々におはしを使い始めるので、おはしを上手に使う準備として、スプーンの3点持ちのお話をしました。
2歳児さんの時に話をした時よりも、上手に持てる子が増えました♪大豆とビーズを1個ずつ移動させるゲームでは、苦戦する子もいましたが、上手にすくって楽しんで取り組んでいました！

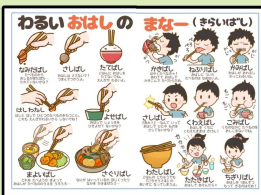


5歳児さんに "おはしの話" をしました

食育通信



3歳児さんから持ち方を伝えているので、はじめに正しく持てているかを確認。3歳児さんの時に比べると、みんな上手に持てるようになっていました！おはしで色々な素材を移すゲームでは、大豆や小豆に苦戦する子も多かったですが、みんな集中して、楽しんで取り組んでいました！
最後に、悪いおはしの使い方（マナー）の絵を見せ、こんなことしていないかな？と子どもたちに聞きながら、おはしのマナーを伝えました♪



～寄付者御芳名～

河野 幸正 寺岡 博也 某
東井 恭子 大石 武子

合計 70,000 円 の御寄付がございました。心より感謝申し上げます。(2026年5月19日～8月25日) (敬称略)

《郵便振込》 口座名：社会福祉法人しんもり福祉会
口座番号：00970-4-319586

(3,000円以上の場合は、寄付金控除の手続きもさせていただきますので、振込の際に、【住所】【氏名】【TEL】の記載をお願い致します)

《社会福祉法人しんもり福祉会》 理事長 松野 五郎

平和の子保育園・子育て支援センター
〒535-0022
大阪市旭区新森 7-1-5
TEL:06-6954-0524

大阪市立両国保育所
〒535-0021
大阪市旭区清水 4-6-15
TEL:06-6951-3083

平和の子子どもの家
〒535-0022
大阪市旭区新森 7-1-5
TEL:06-6954-0524

「保育」と「教育」から

宮上 吉史 社会福祉法人しんもり福祉会 理事

新しい保育所保育指針が2027年に告示、2028年4月に施行へむけ検討が進められています。また幼保連携型認定こども園教育・保育要領と幼稚園教育要領も同時期に改訂が行われ、3指針・要領において幼児教育の内容の基準に関して整合性が図られる方向性が示されました。前回の改定にて保育所は「幼児教育を行う施設」であることが明記されていました。つまり今回の改定にて、3指針・要領の一本化が実現できる可能性があります。ただし、「保育」を「幼児教育」へと概念の変更を強いられるかもしれません。大阪総合保育大学山縣先生と保育システム研究所吉田所長の対談にて、「保育」と「教育」を議論されていますので、紹介いたします。学校教育法では、幼稚園の目的は「義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」、幼稚園教諭の業務は「幼児の保育をつかさどる」と規定しています。「教育をする」とは書かれていません。「教育」については、保育という目的の実現するための手法・課程という構造になっている。つまり、やっていること自体は「保育」であります。ちなみに、保育所は「保育の目的のために、保育という手法を用いる」という、理解しがたい構造です。「目的」としての保育と、「方法」としての保育が混在しているということです。また「認定こども園における保育」は3歳未満児に対する保育で、3歳以上は学校教育となります。整理すると、「学校教育としての教育」と、「保育所保育指針等で示されている“養護と教育の一体的提供”としての保育」は別物であるが、認定こども園の「保育」の中には、すでに「教育」が含まれていて、さらに「学校教育」が乗ってくる…もうわけがわかりませんね。急速な少子化の進行から、「幼稚園だ」「保育所だ」「認定こども園だ」という棲み分けをしている状況ではなくなります。子どもの育ちに求められる保育や幼児教育は何かという「機能」に着目し、施設のあり方そのものがこれまでと違う方向に向かわざるを得なくなると思います。子ども家庭庁が検討している「地域における保育機能の確保・強化」があります。これは「1施設で全部抱える」というモデルから、「地域の資源全体で機能を支える」という方向です。「子どもの育ちを地域でどう保障するか」、この視点でわれわれ保育関係者も検討する必要があると考えます。

平和の子保育園

お楽しみ保育



子どもたちが待ちに待った「お楽しみ保育」が7月11日にありました。
おそろいのTシャツを着てクラス全員元気に登園してきました。わくわく



ドキドキが止まらない様子の子どもたち！まずは、プールで大はしゃぎ、すいか割りも盛り上がり、見事割れたすいかをみんなでいただきました。すいか嫌いの子もおもわずおかわりしてしまう程の美味しいすいかでした。その次はクッキング！包丁やピーラーで野菜の下ごしらえをしたり、自分たちの力でピザを作ったりして豪華な屋食の完成。流しそうめんに焼きたてピザ、バーベキューなどお腹いっぱい食べました。園長先生の怖い話は、耳で塞いでいる子、友だちと肩を寄せ合って聞いている子など、様々な姿が見られましたが、最後は落ちのある話に大笑いでした。そろそろお楽しみ保育も終わりに近づき、最後はグループで力を合わせてスタンプラリーに挑戦！各コーナーにあるゲームやクイズに正解し、5つのスタンプを集めて見事全グループがおやつ券をゲットすることができました!!そしてポップコーンと手作りパフェのおやつを食べて解散しました。子どもたちがやりたい事、食べたい物をたくさんつめこんだお楽しみ保育。夏ならではの活動を存分に楽しみ、今までの見ことのないはじける笑顔を見せてくれたやまさん。子どもたちの「あ～たのしかった！」がたくさん聞けました。すてきな思い出がまた一つ出来ました。小学校に行っても思い出してくれると嬉しいな。



やまグループ（5歳児）担任